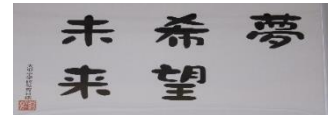


3学年だより



新潟市立大形中学校  
3学年だより No.55  
令和元年6月24日発行  
文責:立川 宏

# 一歩

## 実力テスト

### ～入試レベルの問題練習～

今日は、実力テストの過去問に取り組んでもらいました。実力テスト問題を解いて、どのような感想をもったでしょうか。

※24日(月)に市内大会に参加した人は、25日(火)に実力テストの過去問に取り組んだ後に読んでください。

おそらく多くの生徒は、「こんなに難しいのか・・・」と戸惑ったのではないのでしょうか。問題自体は、難易度でいうと、それほど難しい問題ではありません。しかし、みなさんの中で幅広い出題範囲から出された問題に対応する能力が不足している人ほど「難しい」と感じたことでしょう。

これまでにどれくらい勉強してきたか、理解してきたかが、テストの点数に反映します。逆の言い方をすると、取り組んだ学習内容をわからないままにして残した部分がどれくらいあるかで、点数が決まります。

高校受験の問題は、中学校3年間の学習内容から出題されます。中には定期テストでは出題されないような出題の仕方をする問題もあつたりします。例えば、2つ以上の学習内容(単元)を一つの問題に組み入れた複合問題(融合問題とも言います)はその一例です。また、学習した内容を暗記していれば解けるような問題でなく、考え方や求め方をたずねる出題方法もあります。これらは、覚えるだけでなく「理解」していなければ解けない問題です。

多くが基礎・基本の問題で、残りが複合問題や、理解をみられる問題です。ですから、難しい問題は多くありません。



## 家庭学習で意識したい「学習のポイント」

今日の実力テストを取り組んで自分の力は把握できたでしょうか。

今現在、学力や学習の理解度は人により異なります。いわゆる勉強のできる人もいれば、あまりできない人もいます。みなさんには特別学習という形で、家庭学習に取り組んでいますが、学年の147名全員がまったく同じ学習方法でベストの学習効果を上げるのは、実は非常に難しいことです。あなた自身が

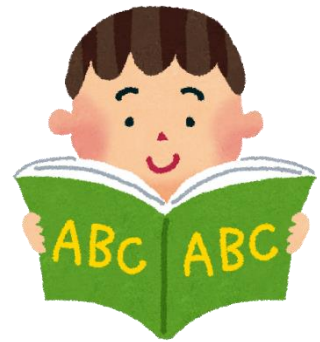
自分で家庭学習するとき、学習のポイントをどこに置くかを定めることで、学習の効果は全然違ってきます。

ここで言う「学習のポイント」とは、

### ①「基礎・基本」を中心に取り組む

### ②「理解力を試される応用問題」に力を入れる

のどちらを重点的にやるのかを言います。



### ①「基礎・基本」を中心に取り組む

自分が「勉強がわからない」と思っていて、テストで「点数が取れない」人は、『基礎・基本が不十分』な人です。基礎内容を覚えていない場合が多いので、「基礎内容を覚える」ことに重点をおいて取り組んでください。

### ②「理解力を試される応用問題」に力を入れる

自分は「ある程度わかる」人や、いわゆる「成績上位者」である場合、基礎内容はある程度以上覚えているはずですが、基礎内容を覚えることやすでに解ける基礎問題に時間をかけるより、「理解力を試される複合問題などの応用問題」に時間をかけるべきです。定期テストでこの手の問題はあまり出題されませんが、進学校と言われる高校受験ほど、「理解力」の差が点数の差、合否の差となって現れます。

自分に合った学習のポイントに重点を置いて取り組み、効果的に成果を上げ、点数アップなど自分でがんばったことが実感できる勉強法をみつけていきましょう。

